

# 神石高原町の“宝物” 「源流の里」維持再生に向けて

過疎化が進み、高齢化率が高く小規模な集落※に対して積極的支援を行うため、**集落支援員制度**が始まりました。

町内の高齢化率が高く小規模な49の集落を「源流の里」と位置づけ、集落支援員が住民とともにその集落の維持再生に向けた可能性を探ります。集落支援員はその集落を見回り、話し合いを行うことで、その集落の課題を抽出。住民自らが行う課題解決に向けた取組みを積極的に支援します。

4月13日(月)役場本庁舎で辞令交付式が行われ、油木・神石・豊松地区はそれぞれ3名、三和地区は1名で計10名の集落支援員が誕生しました。任期は2年です。



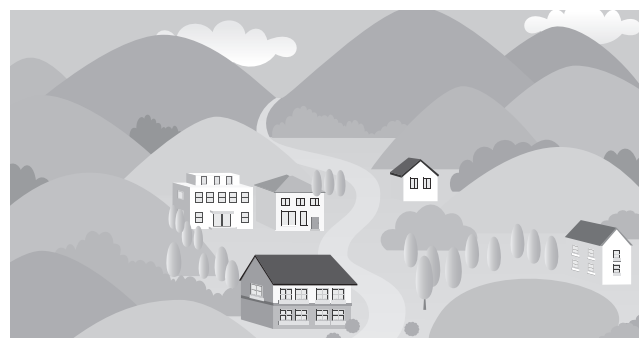
上山副町長(右)から辞令を受け取る井原支援員(左)

## 神石高原町集落支援員

地区	氏名(敬称略)
油木	高原 敬二
	大杉 英雄
	横山 武信
神石	横山 令子
	川井 正美
	岩谷 靖行
豊松	酒井 宏史
	井原 貞子
	藤原 博幸
三和	山本 誠



10名の集落支援員 左から山本、川井、岩谷、横山(令)、高原、井原、横山(武)、藤原、酒井、大杉(敬称略)



集落支援員制度は全国的にも始まったばかり。広島県内では初めての試みです。

神石高原町の“宝物”「源流の里」の維持再生に向け、新たなプロジェクトが大きく動き出しました。

住民と町行政、そして集落支援員の協働による新たなまちづくりの始まりです。皆さんよろしくお願ひします。

※高齢化率が高く小規模な集落…①集落の戸数が20戸未満で高齢化率が60%以上。②同10戸未満で同率50%以上。

# 神石高原町立病院 開院記念式典を開催

4月26日(日)、三和の森リゾート&カンファレンスセンター(時安)で、神石高原町立病院開院記念式・記念講演会をご尽力をいただいた関係者、関係機関の方々80名余に出席をいただき、盛大に開催しました。



式典(牧野町長式辞)

## 町長式辞要旨

この度、広島県から県立神石三和病院の移管を受け、この4月1日「神石高原町立病院」として運営を開始いたしました。

町内唯一の入院施設を備えた、町立病院は、「町民の皆さまから愛され信頼される病院」をめざし、地域医療に貢献したいと考えております。

今後におきましては、指定管理者の社会医療法人社団陽正会(寺岡記念病院)と共に、この町立病院が地域医療の拠点として大きく羽ばたくことを切望します。



講演会  
(迫井広島県健康福祉局長)

また、迫井広島県健康福祉局長を講師に招き行った「地域医療の現状とこれから」と題した記念講演会では、日本の医療や医師不足の現状、医療制度の状況、広島県の考え方や取り組みについてもわかりやすくお話しされました。



## 寺岡理事長あいさつ要旨

病院は、拠点的に医療を発揮することにより、地域住民の安心・安全の拠り所となる貴重な地域資源であり、いわば地域の「豊かさ資源」の柱であります。この貴重な医療機能を守り育てるために、私どもは、町と緊密な連携の下に指定管理の任に当たり、神石方式の病院運営をめざす所存です。

新病院における医療提供の基本理念は、地域医療の実態に合った、全人的で切れ目のない医療の提供を行うこととあります。高齢化率が高く、また人口密度の低いこの地域に相応しい、穏やかでやさしい、個別性を重視した医療提供をめざしています。

## 【実現するための基本方針】

- (1)連携による総合力の向上
- (2)地域の医療需要に応じた医療提供の推進
- (3)持続可能な病院経営
- (4)人材確保と育成
- (5)魅力ある病院づくり

地域の皆様に  
愛され信頼される、  
地域に開かれた  
病院の構築



式典(寺岡理事長あいさつ)